



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月24日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,983	5.8	1,682	2.3	1,845	54.2	1,254	51.6
29年3月期第1四半期	17,937	△1.1	1,645	118.5	1,196	3.9	827	5.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 353百万円(-%) 29年3月期第1四半期 △448百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	15.27	15.26
29年3月期第1四半期	10.10	10.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	95,329	72,737	76.2
29年3月期	96,061	72,890	75.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 72,687百万円 29年3月期 72,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,500	5.4	3,400	2.2	3,600	24.2	2,700	23.5	32.88
通 期	76,000	2.7	6,500	17.9	6,800	14.6	5,200	22.9	63.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	82,623,376株	29年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	483,812株	29年3月期	513,092株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	82,129,784株	29年3月期1Q	81,885,960株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気回復基調が続きました。米国では個人消費が依然堅調に推移しており、欧州も地政学的リスクなどによる先行き不透明感がありましたものの、緩やかな回復傾向にありました。また、アジアでは中国の景気減速が続きましたものの、ASEAN諸国の景気は回復傾向にありました。

日本経済は、円安基調が定着して輸出関連企業を中心に収益改善に向かう傾向が見られ、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、半導体業界の活況が継続し、自動車関連分野の需要も順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、主力製品及び新製品の拡販に注力した営業活動を国内外で継続展開し、生産面では、本年4月に国内生産子会社4社を当社に吸収合併し、経営資源を集約して組織運営を一体化しました。能力増強などを目的とした設備投資も積極的に進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は189億83百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は16億82百万円（前年同期比2.3%増）、経常利益は18億45百万円（前年同期比54.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億54百万円（前年同期比51.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回り、利益は大幅に伸長しました。

主力の入力デバイスは、自動車電装スイッチの種類や搭載車種が増えて、キースイッチ及びタッチスイッチの出荷が好調に推移しました。一方、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、パソコン市場停滞の影響などにより振るいませんでした。ディスプレイ関連製品は、液晶接続用コネクタに回復の兆しが現れ、視野角制御フィルム（VCF）のATM用途も回復しました。コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタがハイエンドスマートフォン用部品の生産調整の影響などにより低調でした。

この結果、当事業の売上高は48億21百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は3億97百万円（前年同期比60.1%増）となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回りましたが、利益は前年並みでした。

半導体関連容器は、半導体業界の高水準な需要を背景に主力製品の出荷が好調に推移し、売上げを伸ばしました。OA機器用部品は、主要ユーザー向け製品の出荷に回復の兆しが見えましたが、売上げは前年並みでした。キャリアテープ関連製品は、自動車向けやスマートフォン向け電子部品などの需要が堅調に推移し、売上げを伸ばしました。シリコーンゴム成形品は、主力の医療関連製品が堅調に推移して、売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は80億93百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は11億80百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、市場の需要低迷の中、新製品の拡販に努め、全体として売上げは前年を上回りました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向け、外食産業向けの出荷が横ばいでした。塩ビパイプ関連製品は、競争が激しい中、受注量を確保して、売上げは前年を上回りました。機能性コンパウンドは、自動車用とロボットケーブル用が好調な出荷で推移し、売上げを伸ばしました。外装材関連製品は、新規取引先開拓やラインアップ拡充に注力しましたが、売上げは振るいませんでした。

この結果、当事業の売上高は43億87百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は36百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

④ その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件を安定的に受注するなど、全体として、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他の売上高は16億81百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は68百万円（前年同期比45.4%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済は、新興国の一部で景気持ち直しが見られるものの、米国の保護主義的政策や欧州での政治・金融不安、中国景気の減速懸念など不透明感が広がっております。また、日本経済は、企業の設備投資は堅調に推移するものの、実質賃金の伸び悩みによる個人消費の停滞や海外景気の下振れの影響などが懸念される状況にあります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、主力成長製品及び新製品の拡販に注力した営業活動を国内外で継続的に展開するとともに、事業環境の変化に即した効率的な事業運営を推し進めてまいります。

当期の連結業績予想といたしましては、売上高760億円、営業利益65億円、経常利益68億円、親会社株主に帰属する当期純利益52億円を見込んでおります。また、配当予想につきましては、1株当たり年間配当金は前期と同額の12円（第2四半期末6円、期末6円）としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,236	40,462
受取手形及び売掛金	18,903	17,469
商品及び製品	5,520	5,732
仕掛品	1,147	1,344
原材料及び貯蔵品	2,391	2,459
未収入金	1,202	950
繰延税金資産	1,042	853
その他	3,094	3,465
貸倒引当金	△360	△335
流動資産合計	73,178	72,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,781	6,597
機械装置及び運搬具(純額)	4,564	4,648
土地	6,471	6,522
建設仮勘定	1,003	1,259
その他(純額)	1,028	1,079
有形固定資産合計	19,850	20,107
無形固定資産		
ソフトウェア	209	175
その他	95	88
無形固定資産合計	305	263
投資その他の資産		
投資有価証券	1,184	1,211
繰延税金資産	450	308
その他	1,092	1,036
投資その他の資産合計	2,727	2,556
固定資産合計	22,882	22,927
資産合計	96,061	95,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,080	13,262
短期借入金	0	0
未払金	2,737	2,822
未払法人税等	966	560
未払費用	2,641	2,400
賞与引当金	1,167	703
役員賞与引当金	46	9
その他	987	1,271
流動負債合計	21,628	21,031
固定負債		
長期借入金	0	0
退職給付に係る負債	1,231	1,250
その他	310	310
固定負債合計	1,542	1,560
負債合計	23,171	22,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	51,970	52,699
自己株式	△360	△339
株主資本合計	73,964	74,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	475
為替換算調整勘定	△1,560	△2,499
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	△1,125	△2,026
新株予約権	51	50
純資産合計	72,890	72,737
負債純資産合計	96,061	95,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	17,937	18,983
売上原価	12,148	13,137
売上総利益	5,788	5,846
販売費及び一般管理費	4,142	4,163
営業利益	1,645	1,682
営業外収益		
受取利息	52	58
為替差益	—	87
その他	32	45
営業外収益合計	84	191
営業外費用		
支払利息	6	6
為替差損	521	—
固定資産除却損	4	22
その他	0	0
営業外費用合計	533	28
経常利益	1,196	1,845
税金等調整前四半期純利益	1,196	1,845
法人税、住民税及び事業税	331	334
法人税等調整額	37	255
法人税等合計	369	590
四半期純利益	827	1,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	827	1,254

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	827	1,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	38
為替換算調整勘定	△1,175	△939
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△1,275	△900
四半期包括利益	△448	353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△448	353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,572	7,651	4,145	16,370	1,566	17,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,572	7,651	4,145	16,370	1,566	17,937
セグメント利益(営業利益)	248	1,217	54	1,520	124	1,645

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,821	8,093	4,387	17,302	1,681	18,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,821	8,093	4,387	17,302	1,681	18,983
セグメント利益(営業利益)	397	1,180	36	1,614	68	1,682

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。